

平成24年第3回中津川市教育委員会定例会議事録（要旨）

日 時 平成24年3月6日（火） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 5-1会議室

出席委員 松田 幸博 田島 雅子 横井 晃

小幡 隆徳 大井 文高

事務職員	山内事務局次長	尾関文化スポーツ部長
	松井教育次長兼学校教育課長	原文化振興対策監兼文化振興課長
	市岡図書館対策監	今井教育企画課長
	梅本幼児教育課長	和田教育研修所長
	幸脇阿木高事務長	鈴木発達支援センター所長
	林企画統括主幹	牧野国体推進室長兼スポーツ課長
	田口生涯学習課長	片田新図書館準備室長

丹羽鉦物博物館長

会議日程

- 1 開 会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教 育 長 報 告
- 4 議 事
- 5 閉 会

番 号	議 題	結 果
報第2号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
議第4号	平成24年度中津川市教育委員会の方針と重点について	承 認
議第5号	平成24年度県費負担教職員の任免等の内申について	承 認
議第6号	中津川市立小中学校管理規則の一部改正について	承 認

〔開 会〕

〔議 事〕

【松田委員長】 議事に入ります。

【大井教育長】 議題6号は、人事案件につき非公開としたいですが。

【松田委員長】 非公開することに異議はありませんか。

異議がないようですので、非公開とします。

日程第1報第1号「専決処分の承認を求めることについて」、お願いします。

【今井教育企画課長】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】 質問等ございますか。これは市が補償を払う事になるのですか。

【今井教育企画課長】 そうです。

【松田委員長】 他にありませんか。

ないようですので、報第1号「専決処分の承認を求めることについて」承認させていただきます。続きまして日程第2議第5号「平成24年度中津川市教育委員会の方針と重点について」提案説明をお願いします。

【教育委員会事務局、文化スポーツ部】〔資料に基づき説明〕

【松田委員長】 まずは教育委員会について質問等ございますか。

【田島委員】 幼児教育の方針と重点ですが、昨年と比べて「豊かな人間性」や「自らが人間性を磨き」が削除されています。なぜでしょうか。

【松井教育次長】 「人間性の豊かさ」は否定しませんが、その前により「指導力」や「授業力」に重点を置いたという事です。

【田島委員】 分かりました。少し話がそれますが人権教育に絡んでですが、「同和」が消されたのは同和対策事業特別措置法が失効したからですね。この法律ができた当時と現在では状況が変化しているからですね。行政サービスも現状に合わせ時代背景に合わなくなった法令等のサービスを見直すチャンスが1月23日を期にきていると思います。

【松井教育次長】 「同和」の文字を消したからといって同和問題が解消されたという事ではなく、学校教育で触れないということではありません。

【横井委員】 「小学校・中学校教育の方針と重点」中の「1家庭1ボランティア」について、説明をお願いします。

【松井教育次長】 「1家庭1ボランティア」は、「家庭で出来るボランティアを親子で取り組みましょう」ということです。学校全体で取り組んでいるところ、取り組みが進んでいないところもあり取り上げています。

【横井委員】 重点の中で「地域ぐるみで実践する」とありますので、本年度は積極的な取り組みをお願いします。

【小幡委員】 「学力アッププログラム」と「1家庭1ボランティア」は、家庭教育や地域の教育力をあげる意味で非常に大事なことです。是非積極的な実践をお願いします。

【田島委員】 今の「地域」ということに関して「生徒指導」にも地域社会総ぐるみの指導、「健

康教育」にも地域が連携した組織とあります。本当に地域の方々にお知らせし、積極的な参加を促すようお願いしたと思います。

【横井委員】「人権教育の方針と重点」に「ひびきあいの日」が設定してありますが、「ひびきあいの日」について説明をお願いします。

【松井教育次長】「ひびきあいの日」は各学校が道徳の授業や特別活動などを利用して、「人権」に関する学習日を設定して実施する取り組みです。

【小幡委員】「小学校・中学校教育の方針と重点」の「学校経営」中に「児童生徒の安全確保」がありますが、具体的な考えを教えてください。

【松井教育次長】「子どもたちの安全を守る」ことについてですが「危機管理マニュアル」を各学校に配布し、事故発生時の速やかな対応を指導していますが、「未然防止」という点では「未然防止のためのチェックポイントの整理整頓」等を学校へ指導しているところです。

【大井教育長】24年度には教員にも防災対策に関する研修に参加させ、学校の防災対策マニュアル等の再検討について早急に取り組むよう準備を進めています。

【田島委員】年度当初に「方針と重点」を先生方に配布して確認することは伺っていますが、年度途中での再確認はあるのですか。

【松井教育次長】年度末にこの項目に対して各学校が自己評価を行います。その結果をもとに次年度の計画作りに生かすという方法をとっています。

【横井委員】「小学校・中学校の方針と重点」の「学校経営」の中で「全職員」と「全教職員」と使い分けされていますが、その違いはなんですか。

【松井教育次長】表記については再考し統一します。

【松田委員長】その他どうでしょうか。またあれば後で一括して受けます。

続きまして、文化スポーツ部についてお願いします。

【田島委員】公民館の活動について、各公民館活動の中で各館の交流を通して中津川市全体を意識した活動を推進、指導していただけると良いですが。

【田口生涯学習課長】市全体の取組みとして全市民に公民館講座を配布して、地域にとらわれないで自由に公民館講座が受講できるように啓発しています。また各公民館も毎月担当者会を開き情報交換を進めています。委員の指摘を踏まえ今後も進めていきたいと考えています。

【尾関文化スポーツ部長】公民館は拠点意識が強い施設です。委員指摘の件ですが、すぐには大きく展開することは難しいかと思いますが、芝居小屋の活動や蛭川の公民館、蛭子座を使っのイベントなど広域性は出てきていると思っています。

【松田委員長】他にございませんか。

【横井委員】「博物館の活動の推進」で青邨記念館の再整備検討を進めるという言葉があります。予算が大変厳しい状況ですが、郷土の誇りの前田青邨先生の記念館の現状は本当に心が痛みます。是非力を入れていただきたいと思います。

【原文化振興対策監】青邨記念館は現在休館中です。市民の皆様の意見を聞きながら検討を進めていきたいと思っています。

【大井教育長】公民館についてですが、人づくり、地域づくりを公民館を中核として進めていくことは必要ですが、市には定住推進部がありまちづくり協議会などの動きがあります。何か二分してしまう気がします。本当に公民館が担うなら地域づくりの基本的な考え方を持って進めていけるような態勢づくりが必要だと感じています。

【小幡委員】「地域づくり型生涯学習を推進する」ということですが、具体的なイメージを教えてください。

【田口生涯学習課長】「地域づくり型生涯学習」のイメージは、子育てや青少年健全育成などの社会的な生活充実のための学習活動、伝統文化保存を継承する活動、学校等と連携して行う学習活動や社会福祉協議会等各種団体と連携して行う学習活動などを考えています。

【田島委員】学校適正化を進める上で、地域の方々が大変重要な役割を果たしていきます。「学校がなくなるとふるさとがなくなる」という話をよく聞きました。生涯学習と連携しながら、大人の役割作りをしていく。学校がなくても、自分たちが地域を作っているという考えを持っていただけたらと思いますので、教育委員会と連携して進めて欲しいと思います。

【田口生涯学習課長】委員のご指摘のとおりです。学校と連携を深めていく機会は今後、より重要だと考えています。

【小幡委員】先ほど「図書サービスの充実と読書活動の推進」の説明の中で「図書サービス」を「図書館サービス」とおっしゃっていましたが。

【小林図書館長】あいまいな使い方で申し訳ございません。大きくは図書館サービスですが、各館の小さな図書館にも「図書」の充実を図りたいということで「図書サービス」と使わせていただきました。

【田島委員】図書館についてですが「伝統芸能の保存や」とあります。博物館にも「収蔵資料のデジタル化」という言葉があります。現在の図書館におけるアーカイブについて、教えてください。

【原文化振興対策監】各博物館、美術館等の所蔵品で、計画的に重要資料のデジタル化を図っています。順次全資料について実施する予定です。また、文化振興課では郷土資料、行政資料のデジタル化、整理を行っています。資料を目録化しその中で優先的にデジタル化して、図書館等で活用できるようなシステムも検討していきたいです。将来的には博物館、図書館等で地域の資料を閲覧でき、学べる態勢作りを目指しています。図書館と連携して公開の準備をしていきたいと思っています。

【田島委員】アーカイブ化したものをいずれは図書館に全部集めて、博物館などの資料も見られるという意味でしょうか。

【原文化振興対策監】図書館でも博物館でも相互の資料が閲覧できるような相互的な活用を考えています。

【横井委員】資料の編さんも含めて「アーカイブ化」という話ですが、学校関係、幼稚園、保育園関係の資料はどこが担当するのですか。

【大井教育長】今取り組んでいるのは南小学校の南校史です。その他の学校の歴史もあります。

当然、幼稚園、保育園も。教育研修所が担当していますが、今後どのように継続していくのか一度整理して検討していく必要があります。

【小林図書館長】地域文化の資料の収集、行政の資料、学校の資料等々、理想的には図書館に集約できるような構築が必要です。何年先になるか分かりませんが市の情報センターとしての機能、本来図書館の持つ最も重要な機能ですので、情報を一元化する方向でいけたらいいと思います。

【松田委員長】デジタル化によりどこでも情報を取り出せるメリットがあります。それを集約する場所が図書館であり、図書館の機能の一つとして大変重要なことだと思います。本当に言いものができる時代が来るといいと思います。

【田島委員】ところで「図書館サポーター、読み聞かせサポーター、図書館ボランティアの育成や支援」ですが、新しい風を持った館長ですので中津川のためにできるだけ講師など引き受けていただきたいと思います。

【横井委員】今年、ぎふ清流国体が開催されます。「市民協働による大会運営」について具体的に教えてください。

【牧野国体推進室長】一つは実行委員会という形式をとり、実行委員会を総勢133名で運営しています。そこには商工会はじめ市の関係する機関や他にボランティア関係等が参加されていますが、他に商店街の方々がのぼりを立てるとか、花飾りなど様々な形で協働を進める計画です。

【松田委員長】他によろしいでしょうか。六斎市や中山道まつりなどでもPRしていただくとよいと思います。全体を通して何かございますか。

それでは私のほうから。「学力アッププログラム」の重要性を先生方に認識していただきたいです。いじめ対策部会等では「子どもたちをそういうものから守ろう」ということに重点が置かれていますが、いじめなどに立ち向かえる「子ども」にも育ててほしいですので、何かの形で学校の中、地域や家庭も含めそういう強い子どもを育てていけるようになるとよいかと思います。

ご意見ご質問が出尽くしたようですので、議第5号「平成24年度中津川市教育委員会の方針と重点について」は承認させていただきます。

〔議第6号非公開〕

【松田委員長】議第7号「中津川市立小中学校管理規則の一部改正について」説明をお願いします。

【松井教育次長】夏季休暇の短縮にともない規則改正をするものです。

【松田委員長】特に問題はないと思うのですが、どうでしょうか。

それでは、議第7号「中津川市立小中学校管理規則の一部改正について」は承認とさせていただきます。

これをもちまして、平成24年第3回中津川市教育委員会を閉会させていただきます。

〔閉 会〕